

【トラック06】

あやめ「あ、兄貴ちょっといい？」

あやめ「これ、兄貴の部屋から見つけたんだけど...このエロ本」

かな「漫画探してたらたまたま発見してさあ、先生のエロへの探究心は果てしないね」

かな「うんうん、感心感心」

あやめ「常に上から目線、メスガキに体臭をバカにされながらの全身舐め...」

あやめ「すぐ見つかる場所にあるってことは、私たちにやってほしいってこと？」

かな「にひひっ、先生、これは言い逃れできないぞ〜」

かな「まあ、見つけなくても先生ならこういうの好きって分かってたけど」

あやめ「これ、私たちくらい女の子が全身を舐めまわして...」

あやめ「きったないチンカスを食べさせて、耳元で馬鹿にされる内容だけど...」

あやめ「兄貴はそういうのがいいの？汚いところを見せてバカにされたいの？」

あやめ「はあ...気持ち悪、本当に歪んだ最低な性癖だね」

かな「あやめっち、今日先生で遊ぶテーマは決まったね〜♡」

あやめ「うん、そうだね。キモいけど、これも兄貴を徹底的に分からせるためだし...」

かな「それじゃあ先生...もう分かてると思うけど全部服脱いで横になってね」

かな「え？恥ずかしいから嫌だ？」

かな「先生はまったくもう〜、素直じゃないんだから〜」

かな「どうせ先生は無理やりが好きな変態さんだもんね〜」

あやめ「ほら、私たちの舌見て...涎でいやらしく光ってる...」

かな「はい♡これ好きなんだもんね、メスガキの、し・た♡」

あやめ「この舌でえ...んちゅ...れろ、こんなふう舐め回したらあ...ちゅる...」

かな「んちゅ...と一つても、はあ...れろ、気持ちいいと思うよお？♡ちゅる...」

あやめ「お兄ちゃんのきったない全身、んちゅ...ちゅるる...舐めさせてえ♡」
かな「いにいの耳も口も脇も、んちゅ...じゅる...チンポもお...ぺろぺろさせてえ♡」

あやめ「どう？舐められたい？舐められたいよね？♡」
かな「バカにされながらあ、お口マンコにぴゅっぴゅしたいでしょ？♡」

かな「ぷっ、くすす、首を縦に降っちゃって...素直すぎ♡」
かな「さっさと脱げ♡このマゾ♡」
あやめ「雑魚のくせに...私を待たせないでね、お兄ちゃん♡」

かな「にひひっ、どマゾの全裸、サイッテー♡」
あやめ「ぶっ、ほんと気持ち悪い♡」
あやめ「それじゃあお兄ちゃん、そこ座ってね～」

かな「逆レイプ準備万端のマゾの全身、舐めてあげる♡」
あやめ「変態マゾのきったない体、私たちがこの舌で犯してあげる♡」

かな「はあ...んちゅ...先ずは挨拶代わりに...はむっ...んちゅる...この耳から...♡」
あやめ「ちゅぱ...お兄ちゃん、好きだもんねえ...ちゅう...ちゅる...」
あやめ「お耳の中...はあ...ちゅう...じゅる...とろとろにレイプされるの♡」

かな「ちゅぱ...いにいの耳...んっ♡まっず♡ちゅう...サイッテーの味♡」
あやめ「ほんとお...ちゅう...入口から奥まで...んちゅ...まずくて最悪の味い♡」

かな「ほらあ...ちゅぱ...奥までねじ込んであげるからあ...ちゅるる...」
かな「いにいの...ちゅぱ...きったない耳かす、ちょーだい♡」

あやめ「んちゅう...私も奥まで舌で犯すからあ...んちゅ...ちゅる...」
あやめ「お兄ちゃんの...じゅる...きったない耳かす、ちょーだい♡」

かな「ねえ...変態にいに...耳かすちょーだい♡耳かす食べさせて♡耳かすう、ちょーだい？♡」
あやめ「ねえ...変態にいに...耳かすちょーだい♡耳かす食べさせて♡耳かすう、ちょーだい？♡」

かな「ちゅ...じゅる...じゅるるる...れろ...じゅるるるる、じゅぱ♡」
あやめ「ちゅ...じゅる...じゅるるる...れろ...じゅるるるる、じゅぱ♡」

かな「くすっ♡ちゅぱ...変態♡はあ...じゅるる...ちゅぽ...じゅるるる♡ちゅぱっ♡」
あやめ「あはっ♡ちゅぱ...ざあ♡はあ...じゅるる...ちゅぽ...じゅるるる♡ちゅぱっ♡」

かな「にひひ～、ごちそうさま♡予想通りのサイッテーな味だったよ、にいに♡」
あやめ「まずくて臭くて最悪な味♡」

あやめ「それじゃあ、今度はどこを舐めようかなあ♡」
かな「ん～？ににお口が寂しそうだね♡」
かな「ににお望みの...キス、しながらあ、そのお顔も舐めてあげる♡」

あやめ「それエロ～い、お兄ちゃんのお顔、JCの唾液でべちよべちよになっちゃうね」
あやめ「ほらお兄ちゃん？こっち見て？」

あやめ「んっれろお、この舌でえ、きったないお顔、舐めてあげる～♡」

あやめ「ん...ちゅ...ちゅぱ...軽くキスしてえ...お顔を、れろ、べろべろ...ちゅっ、ちゅぱっ」
あやめ「あはっ...しょっぱくてえ、キ・モ・い・あ・じ♡」
あやめ「んっちゅ...れろ...べろべろ...はあっ...ちゅ...じゅる...」

かな「あーずるーい、私もー、ほらにいに、私のことも見て？♡」
かな「んーちゅ、ちゅぱ...じゅるる...あはっ、ほんとだ...ちよっとしょっぱい...れろれろ...」

かな「にいにのお口も犯してあげる♡」
かな「んっ...じゅる...ちゅぱ...じゅるる...どお？JCとのナマ唾液交換♡...ん...じゅるる」

あやめ「れろ...ちゅ...んふ、ディープキスえっろ～♡」
あやめ「舌と舌でセックスしてるみたい♡」
あやめ「もちろんお兄ちゃんが犯されてる側だけど♡んちゅう...れろ、じゅる...」

かな「んっじゅる...はあ...ふふっ、にいに顔中どろどろ...んじゅる...ちゅぱ...ぷはっ」

あやめ「今度はあ、私もナマ唾液交換、しちゃおっかな」

あやめ「その前に、お兄ちゃん口開けて...そう、見えるように...あはっ、こっけい〜♡」

かな「ほんとマゾ犬らしくて恥ずかしいお顔、サッテー」

あやめ「先に私の唾液飲ませてあげる...口の中で咀嚼してよく味わってね♡」

あやめ「お口で...んっ、くちゅ...唾液をためて...ん、こんなもんかな...」

あやめ「お兄ちゃん、いくよお？お口、あけて？...ん、んべえ...ちゅる...ぺっ...」

かな「やーん、JCに唾液垂らしてもらって嬉しいね、にいに♡」

かな「ほら、よく味わってごっくんしようね〜♡」

あやめ「あははっ、本当に味わってるし、気持ち悪すぎ♡」

あやめ「最低なことで喜んでる自覚あるのかなあ？」

あやめ「今度はディープキスもしてあげる...舌出して、もっと...あはっ、いいよお♡」

あやめ「んっちゅ...じゅりゅ...じゅる...じゅぱ...舌、んちゅ...もっと絡ませよお？」

あやめ「ん...じゅる...ちゅぱ...んっ...もっとお、じゅる...ちゅぱちゅぱ...れろお...」

かな「うっわ、エッロおい、JCとのお口セックス嬉しいね♡」

かな「変態...小さい女の子の体臭と体液で勃起しちゃう、ロリコンマゾのど変態♡」

あやめ「じゅる...つぶはあ...あは、お兄ちゃんぼーっとしちゃってるう♡」

あやめ「そんなに二人にお口レイプされたの嬉しかった？どマゾ、だもんね♡」

かな「お次は...ここ、脇の下♡」

あやめ「お兄ちゃんのきったない両脇、ぺろぺろ舐めてあげる...感謝してよね♡」

かな「じゃあ脇をあげて...んっ、くっさ...えほっ、くさすぎ...こんなにきついのか？」

あやめ「んっ...ぐっ、くっさ...濃く煮詰まったような、えげつない匂い...」

あやめ「お兄ちゃん、ちゃんと洗ってる？最低の臭いがするよ？」

あやめ「んっれろ...んむう...ほんと、くさすぎい♡それに...まっず♡...れろ、ちゆる...」

かな「んっ、ちゆる...にいにの汚い毛じゃま...れろれろ」

かな「んちゅ...臭すぎておかしくなりそう...んっ、ちゅば、くっさあ♡」

あやめ「はあむ...れろ...ちゅば、あはっ、お兄ちゃんのちんぽ、さらに大きくなってない？」

かな「やっぱり...JCに体臭バカにされるの好きなんだあ♡」

かな「自分の脇舐めてもらって、くっさ♡ってバカにされて興奮しちゃった？」

かな「んちゅう...れろお...ほんとキモすぎい♡」

あやめ「今度はあ...そのまま横にずれて、お兄ちゃんのマゾ乳首も...舐めてあげる♡」

かな「さっきからボッキしていじめて～♡って主張してるもんね」

あやめ「最初は先っぽをちろちろ舐めて...れろ...くすっ、ビクってしすぎい♡」

かな「舌先で乳頭を撫でるように...れろれろ、れろ...これだけで雑魚乳首は嬉しそうだね♡」

あやめ「次は、一気に吸い上げるように...ふふ、ガチ勃起してるからやりやすそう」

かな「いくよにいに、今度は乳首全体をいじめてあげる♡」

あやめ「んっ、ちゅば...ちくび...かったあ...ちゆる、じゆるる、じゆるるるる」

かな「んちゅ...ちゅば...じゆるる...んふ、コリコリィ...じゆるるる、じゆるるる」

あやめ「じゆる...れろれろ...全体もお...じゅば...べろべろ...れろお...ちゆるる」

かな「ちゆるる...どおにいに？JCのダブルマゾ乳首舐め♡んちゅう...」

かな「脳天まで刺激が伝わってえ...んちゅう...じゆる...たまらないでしょ、じゆるる」

あやめ「ちゆるる...じゆる...んー？お兄ちゃんどうしたの？もじもじして」

かな「もしかしてえ...んちゅう...もう雑魚チンポ我慢できない？」

かな「チンポ扱いてびゆるびゆるお射精したくなっちゃった？」

あやめ「ざっこ～♡まだ上半身しか舐めてないよお？」

あやめ「そっかそっか～、お兄ちゃんは本当に仕方ない雑魚マゾだね♡」

あやめ「でもまだあ～め♡もっと楽しませてー？♡」

かな「いには私たちの何だっけ？」

かな「そう、マゾ奴隷、だったらご主人様の言うこと聞こうね～♡」

かな「じゃあ今度はいに、足思いっきり広げて？」

かな「そうそう...やあん、変態すぎ～♡」

あやめ「ぶっ、あははっ、恥ずかしい格好～♡」

かな「はいはい、どマゾ変態ポーズのできあがり～♡」

あやめ「透明なお汁が垂れてる雑魚おちんぽとお...」

かな「濃厚などろどろザーメンを作ってるキンタマ...」

あやめ「ヒクヒクしたマゾのお尻の穴まで丸見え～♡」

あやめ「さっきは上半身だったから、今度は下半身...」

あやめ「ちんぽの周り、舐めしゃぶってあげる♡」

かな「にひひっ、それじゃいっくよ～」

あやめ「スンスン...うわ...くっさ♡マゾのオス臭がむわあってきて...変態な匂い♡」

かな「すんすん...はあ、くっさ♡ちんぽの周りだけでもエグい匂いするう...♡」

あやめ「まだおちんちんの先はおあずけ、すぐにイっちゃいそうだし♡」

あやめ「まずはこのずっしりとした、ぼてぼてのキンタマから♡」

あやめ「小さなお手でスリスリするだけで気持ちいでしょお？」

かな「ズボンの中で蒸れた雑魚マゾのキンタマ、舐めてあげる♡」

かな「おっきく膨らんで、この中で激臭のおせーし作られてるんだねえ」

かな「それじゃ...」

あやめ・かな「いただきま～す♡」

あやめ「んっ♡むぐっ♡蒸れて...気持ち悪い...んちゅ...♡はむっ♡くさすぎい♡」

あやめ「この中に、んっ♡濃厚なマゾミルク...んっ、じゅるる♡」

あやめ「はあ...マゾの証♡いっぱいあるんだあ♡...じゅるる」

かな「んっ♡むえ...えほっ、ぐ、くっさ♡サイッターの匂い...」

かな「にいにの汚いたまたま、舐めてあげる...んっ、くっさあ♡」

かな「んちゅ...れろ...玉裏とか...臭くて香ばしくて...ちゅば...最低の味い...♡」

あやめ「ぶはっ...舌でコロコロ転がすとおもしろ〜い♡」

あやめ「お兄ちゃんのたまたま...パンっパンだね♡」

かな「にひひっ、タマ舐めると、にいにのお尻の穴ヒクヒクして...変態すぎい♡」

かな「もう我慢できないくらいマゾ汁も溢れて、ガッチガチ♡」

あやめ「そろそろお兄ちゃんお待ちかねの...」

あやめ「その雑魚チンポ、舐めてあげよっかあ？」

かな「チンポだけ舐められずに焦らされて...もう、出したいんでしょ？」

あやめ「とろっとうろのお口の中で、じゅぼじゅぼしたいよねえ？♡」

あやめ「なら、ちゃんとお願いしようね...どマゾらしく足を開いたその格好で♡」

かな「お願いします、僕の臭くて汚いおちんぽフェラしてください♡」

かな「JCのお口マンコの中に、敗北ザーメンびゅるびゅる射精させてください♡」

かな「さんはい♡」

あやめ「ん〜？言わないんだったらやめよっかなあ♡」

あやめ「もう十分無様で情けない姿見れたし」

あやめ「...ん、なあに？♡」

あやめ「ちゃんと大きな声で言って、ね？♡」

かな「言え、マゾ堕ちしろ、この変態♡」

かな「あははっ、その格好で...ぶっ、くすすっ、にいに、サイッター♡」

あやめ「ぶっ、あははっ、お兄ちゃん変態すぎい♡」

あやめ「敗北マゾ堕ち宣言、スマホで撮っておけば良かった♡」

あやめ「いいよお、それじゃあお望み通りフェラ、してあげる♡」

かな「良かったねえ、JC二人のダブルフェラ、楽しんでね♡」

あやめ「んっ、お兄ちゃんの雑魚ちんぽの皮...すでに濃厚なオス臭...」

あやめ「これ...むきむきしたらやばそお♡」

かな「おちんぽの匂いエグすぎて、私も発情しちゃうかもお♡」

あやめ「いくよ...二人で、ゆっくり...むい、て...んぐっ、えほっ...匂い一気にきたあ♡」

かな「鼻の奥にくるような...臭くて...クセになる下品な匂い...やばあ...♡」

あやめ「すんすん...ぐっ、うえ...本当にくさすぎ...オス臭い最低のちんぽ...」

かな「にひひっ、もっとめくると、濃いチーズみたいな、チ・ン・カ・ス♡」

かな「いっぱい溜め込んでるんじゃない？サイッター♡」

あやめ「この皮かぶってる部分を全部下げると...んん〜っ、くっさあ♡」

あやめ「やっぱり濃いチンカスがたくさん♡」

かな「うっわ...くっさあ♡...すんすん...すん...濃厚なマゾオスの匂いがするう...」

あやめ「コテコテに発酵したチーズみたいな、きったなくて最低な匂い♡」

あやめ「このチンカスも、ぺろぺろしゃぶってあげる♡」

かな「にいにのサイッターなチンカス、食べさせて♡」

あやめ「ん、んちゅう...うへ、まっずう♡...ちゆる...ちゅぱちゅぱ」

あやめ「じゆるる...亀頭の先走ったカウパーをなめとってえ...じゆる...」

あやめ「この...チンカス...ちゆる...ちゅぱ...うっ...くっさあ♡」

かな「んっちゅ...ちゅぱ...くさあ♡にいにの、サイッターチンポ、やばすぎい♡」

かな「んっ♡チンカスまっず、ひどい匂い...えほっ...んっ♡んふっ...まだ飲み込まずにい...」

かな「飲み込むところお...見せてあげる♡」

かな「ほら、にいに...んべえ♡」

あやめ「お兄ちゃん、見て...んべえ♡」

あやめ「これをお...お口でくちゅくちゅして...ちゅ...じゅるる...」

あやめ「味わってから...んっうえ...んっ♡こくん♡...はぁ...まっずう♡」

かな「舌で唾液と...ちゅる...混ぜてえ...んっ♡」

かな「くちゅくちゅって...んっ...いくよお...んっ♡こくん♡...はぁ、食べたよお♡」

かな「にひひっ、にいに嬉しそう...そんなにチンカス食べてほしかったんだ♡」

あやめ「ほんと変態、チンカス食べさせてオチンポさらに勃起させて...」

あやめ「もっと舐めたげる...はぁ...じゅるう...ふふっ、くっさ♡...ちゅる」

かな「私はあやめっちが舐めてるところ、耳元で実況してあげる～♡」

かな「妹メスガキのフェラ、嬉しいね～にいに♡」

かな「ほら、よく見てあげて...にいにのために雑魚チンポ、舐めてるところ♡」

あやめ「裏筋も舌でなぞってえ...んちゅう...また、さきっぽお...ちゅぽぁ...」

あやめ「んっ♡んふー♡このまま、おちんぽ奥まで咥えてあげる...じゅる...じゅるる」

かな「あんなおっきいの咥えてすごお♡」

かな「ねえにいに、今どんな気持ち？」

かな「足を開いて無様に女の子におねだりして...臭いを馬鹿にされながらのフェラ♡」

かな「にひひっ、嬉しいんだよねえ♡」

かな「むしろもっと堕ちたい、堕とされたい?...ばぁ～か♡」

あやめ「ん...じゅるっ...マゾ、ど変態...♡んっ♡じゅるる...ちゅぽっ」

あやめ「ふふっ、雑魚ちんぽもギンギンで射精の準備万端...」

あやめ「そろそろお兄ちゃんのこれ、しゃせーさせてあげる？」

かな「とろっとろに蕩けたお口まんこにびゅくびゅく出したいよね?♡」

かな「孕ませるつもりで勢いよく敗北おしゃせーしちゃお?♡」

かな「寸前までちんぽの根元占めて我慢してえ...」

かな「さいっこうに気持ちいいど変態射精、きめちゃおうね♡」

あやめ「いくよお兄ちゃん、私の、本気フェラ♡はむっ...ちゅるる」
あやめ「じゅる...じゅぽ...んっ♡雑魚チンポっ...はむう♡おっき、んっ♡」

かな「マゾちんぽが、じゅるじゅる、ちゅぽちゅぽ...」
かな「JCの女の子が見せちゃいけない...ど下品顔でチンポ咥え込んでるよお♡」
かな「にいにのせいだよ？...あんな濃厚なチンカス食べたらあ...」
かな「クサくてエロくて...媚薬みたいに体がスケベになっちゃう♡」

あやめ「んっ♡んふー♡じゅぽっ♡雑魚チンポお...んっちょっと、美味しいかも♡」
あやめ「お兄ちゃん♡んっはやく...私にどろどろのザーメンぶちまけてえ♡」
あやめ「んっ♡じゅる♡このお口とお、喉奥が目印、だよお♡んっ、じゅるるる♡」

かな「見てえ、にいに♡本気フェラのメス顔♡」
かな「妹がスケベな顔で、ど下品フェラで、チンポ咥えてる姿はどう？」
かな「興奮...するでしょ？この変態♡」

あやめ「んじゅるる...じゅるるる...おにいひゃんのちんぽ...もうやばいんじゃない？」
あやめ「でもお...じゅる...んっ...ちゅぽ...ゆるめてあげない...じゅるる...」

かな「ほら耐えろマゾ、変態...変態...」
かな「いつもティッシュに寂しくムダ撃ちザーメン出してるんだから...」
かな「こういう時くらい頑張れるところ見せようね♡」

あやめ「んっ♡んっ♡じゅるるる...お兄ちゃんのちんぽ...おいひいよお？...じゅるる」
あやめ「このままっ...じゅる...こってりマゾミルク...じゅるる...ごくごくさせてえ♡」

かな「ほら、がんばれがんばれ～♡」
かな「んー？もう出そう？本当にダメ？ざっこお♡」
かな「限界そうだし、最後は情けなくびゅるびゅるしようね♡」

あやめ「じゅるる...あはっ、大きくびくってした、もう限界？出ちゃいそう？」

あやめ「いいよ...じゅるる...私のお口マンコにいっぱいちょーだい？」
あやめ「んっ♡じゅるる...ちゅう...じゅるるる、じゅぽじゅぽ♡じゅぽ♡」

かな「ほらいく、マゾせーしのぼってきちゃう...
かな「全身舐められて感度高まって...たくさん作られたおせーし、のぼってきちゃう♡」
かな「出るときはあ、ちゃんと、カナ様アヤメ様マゾ汁です～♡って叫んでね♡」
かな「ほら、じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ♡」
かな「メスガキのお口マンコを汚いざーめんで汚すまでもう少しだよ～♡」
かな「無様に敗北マゾ射精しちゃおうね♡」

あやめ「んっじゅぽっ♡らひてっ私のお口にこってりミルク♡」
あやめ「いっぱいちょーらい♡お兄ちゃんのマゾせーし飲ませてえ♡」

かな「いけいけいけ、惨めにぴゅっぴゅしちやお？♡」
かな「アへ顔決めて気持ちよくなっちゃお？」
かな「ぴゅっぴゅして、ぴゅっぴゅして♡」
かな「ほら、イケ♡」

あやめ「ふぐっ?!んんっ～～♡...んあっ♡...はあ...ちゅる...じゅるる...」
あやめ「ビクンビクンして...あっ♡まだ、出てる...ちゅる...じゅるる...」

かな「ぴゅくぴゅく～びゅるる...お口マンコに、中出しお射精♡」
かな「びゅるびゅる～、ぴゅっぴゅっ、ちゃんと気持ちよくなれたね～♡」

あやめ「ほんといっぱい...最後にお兄ちゃんの好きなあれ、やったげる」
あやめ「お兄ちゃんの大好きな...ザーメンごっくん♡」

かな「あ、ねえねえあやめっち、それ、私にもちょうだい♡」
かな「変態にいいには、こういうのも好きそうだし♡」

あやめ「んっ、じゃあ...顔、近づけて...んっ♡」

かな「こう...？ん、んっ♡」

あやめ「ちゅ...ちゅる...じゅるる...んはあ...ちゅる...ちゅぱあ♡」
かな「ちゅ...ちゅる...じゅるる...んはあ...ちゅる...ちゅぱあ♡」

あやめ「んふふっ、これでザーメン半分こ、だね♡」
かな「んっ♡はあ...口移して、ドキドキしちゃった...♡」
かな「それじゃあにいに...両耳に集中♡」

かな「んっ、ちゅる...じゅるる...はあ...濃厚...唾液と混ざって、んっ♡エロい味い♡」
あやめ「んちゅ...じゅる...お兄ちゃんの、我慢してたから...じゅるる...」
あやめ「ゼリーみたいに...ちゅっ...濃ゆくて...んっ♡くっさあ♡ちゅるる♡」

かな「それじゃあ、いくよ...」
あやめ「それじゃあ、いくね...」

あやめ・かな「んっ...くちゅ、ちゅる...ごくんっ...んっ、はあ...」

かな「にひひっ、ご馳走様、にいに」
あやめ「くすっ、美味しかったよお兄ちゃん♡」